

## ERFC 清里ミーティング報告号

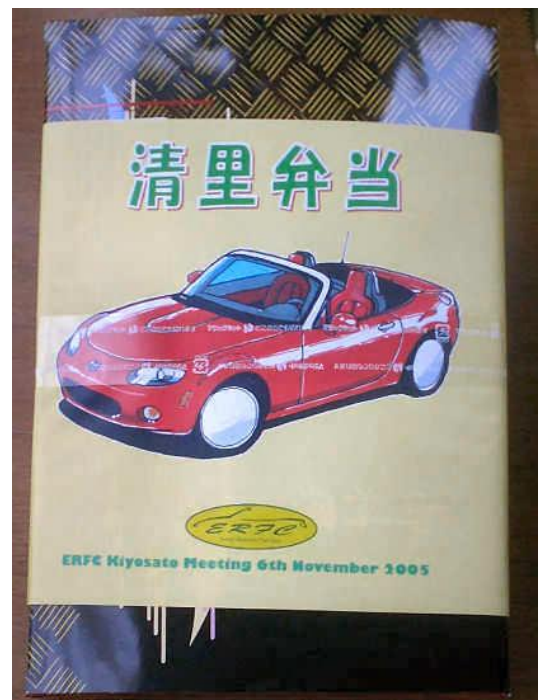
おかげさまで第16回 ERFC 清里ミーティングは無事に終了いたしました。そんなわけで、ミーティング報告号、まずは会長の挨拶から。

### おはようございました

清里ミーティングに参加されたみなさん、お疲れさまでした。今年は寒かったですね。数年前に雪が降ったときほどではなかったですけど。雨もなんとかみなさんが会場をあとにするまではそれほど酷くならずホッとしました。あのあと、夜はかなりの大降りになってタイヘンでした。翌朝の八ヶ岳高原道路では溝に落ちてくるクルマがいました。みなさんは無事にお帰りになったでしょうか。

今年はいつもとは少し違う方々をゲストにお迎えして、いつもと少し違うお話が聞けて楽しかったですね。新型ロードスターの開発において苦労されたことなども実研の方のお話はリアリティがあって新鮮でした。じつは直前までどんなお話をしていただけなのか、ちょっと心配していたんですけどね。みなさんも楽しんでいただけたんじゃないかと思いますが、どうでしょうか。

実行委員長が早くも来年の開催を宣言しちゃったので、来年もまた清里でお会いしましょう。



(No.590 ひでまる地蔵)

### 清里ミーティング報告 ~11月6日、今年も清里寮には多くのロードスターが集まりました~

前夜は星空だったのに、翌日は麓に雲海の広がる爽やかな朝だったのに、よりによってミーティング当日の朝は今にも降り出しそうな曇り空。まったく誰の(以下略)

ともあれホール前の軒先に下がった大きなてるてる坊主に見守られた清里ミーティングはひでまる会長の史上最短の挨拶(笑)で始まりました。

午前の部の最初はマツダの車両開発本部 車両実研部 燃費・動力性能実研Grの斉藤茂樹さ

んをお迎えして、ロードスターの統一感タスクをテーマに、プロジェクタを使用しながらお話いただきました。

Sランクのテストドライバーでもある斉藤さんには走りを中心としてロードスター開発の過程についての結構具体的なお話、例えば開発チームの感覚統一のためのベンチマークとしてNA・NBを含む競合車の乗り比べについて。その結果として評価項目として設定された駐車場を出るときや交差点を曲がる時のよ



うに意外なほど身近な場面が中心の気持ちのいいシーン、作り込みのための感性の評価法、そしてそして、さらにミーティング会場でしか話せない裏話・・・ああ、書いちゃいたいけど書くわけにはいきません。当日会場で講演を聞いた人だけの特典と言うことで。(^^;)

続いてマツダスピード&カスタマイズ推進 Gr. の小早川隆浩さんから、NC用品の商品開発の狙い、手順などについての説明がありました。またマツダスピードがマツダの一部門となったことによるこれまでの製品との違い(精度の向上など)についてもお話いただきました。

さらに後半では商品ブランドマーケティング部の杉村さんにも加わっていただき、参加者との質疑応答では本音のぶつけ合いトークが行われました。

さらに毎年 Mu-Len シートをご提供いただいているデルタツーリングの開発部長藤田さんからはシートについての技術的なお話を判りやすい形でしていただきました。

藤田さんには 10 年以上前のミーティングでもお話いただいていた、今回はその時に話のあった理想のシート、通称『約束のシート』が完成に近づいたと言うことで、まさに約束通りにお越しいただきました。

お昼は例によってお弁当タイムからなだれ込んでのフリータイム。駐車場にはMAZDA とマツダスピードのNC、そしてデルタツーリングのシートの乗ったNA、ディーテクニクのTD-1001 が揃いました。

さらにRCOJのショップやERFCのブースも盛況でしたが、終了予定時間よりも早くから雨が降り出してしまい、ちょっと時間を繰り上げてなんコンの表彰と恒例となったじゃんけん大王の光臨！今年も多く勇者たちが大王(&大魔王)に挑み勝利を勝ち取り、あるいは散っていきました...。(^^;)

今年は閉会時には雨の中のお見送りとなってしまいました。皆さん、お疲れさまでした。来年も清里でお会いしましょう。

(清里ミーティング実行委員長：豆蔵)

では続いて各スタッフからの報告などなど・・・

### 「アメニモマケズ、カゼニモマケズ、「なんコン」ハ ガンバリマス？」

あいにくの天候となりましたが、清里ミーティングへご参加いただきありがとうございました。

さて、いつもの「なんコン」もいつものようにいつもの調子で、みなさまご参加いただけたかと思えます。

ここ最近の傾向を見ると、だいたい8点くらいで平面モノ？が増えてきたかなと思えます。パネルにイラストや写真を並べた物、また書道ものなど、立体的なものからこうした平面モノの出品が多くなってきたのは、ある程度作りこまないと形にならない立体モノに対して、気軽に取り組めることがあるのからかもしれません。展示側にとっては、平面に置くとちと格好つかないパネル物は配置に苦労したりもしていますが(笑)。

そうは言っても参加点数が増えるのは大歓迎ですので、みなさま来年もよろしくお願ひします。

では上位3点の発表です。まず第3位は、神奈川県から参加の青木友和さん。昨年大きな書道の作品で会場をあっ、と言わ





せて優勝を果たしたその人です。今年も書道で「ZOOM - ZOOM」とマツダのポリシーを表したあの言葉を書いてくれました。その見事な達筆ぶりは今年も健在でしたが、やはり昨年のインパクトが強すぎたのでしょうか。とはいえ3位GETはやはり昨年の優勝者です。

第2位は山梨県から参加の森本真至さん。「ロードスターとともに」というタイトルでNCを人馬一体と言う言葉と共に思いの込めたイラストで描いていただきました。素敵な色使いにロードスターへの愛あふれた言葉がつつられています。その一言一言にうなずく参加者もいたと思います。そのあたりが2位を獲得した一因ではないでしょうか。



そして05年「なんコン」の優勝は、一昨年、あのじゃんけん大王様を見事に立体化した、東京から参加の松浦友哉くん、「路道星道祖神」というタイトルで、今年もお得意の立体モノでミーティング参加者の心をわしづかみにしました。



「道祖神は旅の人を守る神様。ERFCを守っているスタッフは神様なのでこれをつくりました」というコメントから、この道祖神はスタッフの具現化だったんですね～お見事です。みなさまはそのあたり気がつかれましたか？広島J58G佐竹会長も立体化とは、さすがに誰も気づかなかったようです。当のご本人も驚いていました。

という感じで今年の「なんコン」も盛況のうちに何とか終わることが出来ました。このところは常連参加者によるアイデアの出し合いで抜け出した人が優勝！というパターンが多いようです。確かにインパクトがある作品は、それだけで目立ちますから得していると言えそうですが、小粒でピリリの作品にも奮闘してもらいたいです。

NCも登場してロードスターの世界も増々深み？が出てきました。いろんな形でいろいろなロードスターへの愛を表現していく「なんコン」は来年もあります（多分：汗）。今年以上の作品が登場してスタッフと参加者を脅かせてもらえたら、また楽しいイベントになると思います。みなさん～頑張っって盛り上げていきましょう！

(ふじい@尾張屋)

## スワップミートでお宝はあったか？！

雨が降ったら中止か？と心配されましたが、どうにか2時間ほど開催できました。人気だったのはスタッフK氏のコレクション。カタログからミニカーまで小物がズラリ。「ほんとにこの値段でいいの？」と、一部のマニアには格安だったようです。ヤフオクならもっと高くなる場所を清里特価で手に入れられるのが人気の理由です。来年はいい天気になることを、そしてもっと楽しんでいただけることを願っています。

(かたかい@スワップ担当)



## 今年も駐車場より愛を込めて

駐車場係のまえだです。不安定な空模様の中、ご参加いただきありがとうございました。清里での一日を十分に楽しんでいただけたでしょうか。本来なら澄み切った青空の下、色とりどりのロードスターがズラリと並んでいるところを眺めつつ、皆さんの車を見守るといのが私たち駐車場係の密かな(?)楽しみなのですが、今年は会場の上の空や、遠くの山に掛かる雲の流れを観察している時間のほうが多かったような気がします。しかし結果的に天気は昼休み頃まで持ちこたえてくれて一安心しました。



来年もまた清里で会いましょう。そのときはぜひ、お日さまも連れてきてください。

(まえだこういち)

---

## さらに駐車場より愛を込めて

駐車場係のいわいです。清里ミーティングへの参加、ありがとうございました。

今年はスタッフまえださんのご子息、こたろうくん力作のてるてる坊主の神通力をもってしても昼過ぎまで降らせないようにするのが精一杯だったようです。

(この神通力がなかったら朝から降っていたかもしれないと思ったり.....)

自分の車の外気温度計はみるみるうちに下がっていき、「こりゃ寒いわけだよなあ」と思うことしきりでした。とは言え参加者の方から「今年はようやくジャンケン大王に勝ちました」「今年も楽しかったです」などのコメントをいただき、スタッフとしては心の温まる一瞬でありました。

「来年こそは晴れてくれ」と思った今年の清里ミーティングでありました。

また来年もお越しいただけることをお待ちしております。

(いわいだいすけ)

---

## 看板は雨の中・・・

看板類・名札・パンフレットを担当したヒラグチです。皆様、ご参加ありがとうございました。早朝日の出の時刻(6時頃だと思います)を待って駐車場まわりの看板を設置に出ると、微妙ながら朝焼けもあり、山のシルエットもきれいに見えていて、好天が期待できそうな雰囲気だったのですが...残念ながら終了まで天気はもちこたえられずちょっとさびしい終わり方になってしまいました。

去年の再利用のやつにあわせ若干作り足した看板類も耐候性までは考慮外の「サタデーナイトスペシャル」だったので終了後廃棄せざるを得ませんでした。来年はもっと耐久力のあるやつを考えエコに貢献したいと思います。また、パンフレットのほうも少しだけモデルチェンジさせていただき、あそび心で会場案内図をイラスト化しましたが、会場設営の都合上、配置関係に実際とかなり違いがでてしまいました。

また、怪しい記憶で書いたのでディテールにウソがいくつかあったみたいでこちら申し訳ありませんでした。来年は今年の会場レイアウトを基にもう少しちゃんとしたのを用意したいと思いますのでこちらよろしく願います。

(パパ・ヒラグチ)

## おみやげどうでした？

10何年来の伝統(?)だったTシャツから今年は趣を変えてクラブのロゴ入りブランケットを作ってみました。これからの季節、寒さに負けずオープンで走る皆さんの助手席のお供に使って頂けると嬉しいです。

来年Tシャツが復活するか、はたまた違うお土産になるのかは参加された皆様からの声に掛かっています。是非ご意見ご感想をお聞かせ下さい。

(わだ)

---

## 受付よりひとこと

今年も受付におりましたつのやま(じゃんけん大王でない方)です。曇りのち雨という寒々しい天候ではありましたが、はるばるおいでいただきありがとうございました。

受付というのは毎年あわただしい場所なのですが、初めて参加された方もおなじみの方も、皆様少し眠そうに、でも楽しそうにいらっしゃるのを拝見できる楽しいポジションでもあります。NC発売の年ということもあってちょっといつもと違う感じのミーティングでしたが、そのまま楽しい一日を過ごしていただけましたでしょうか？

願わくばまた来年、笑顔の皆様にお会いできますように・・・

清里でお待ちしています。

(つのやま@じゃんけん大王でない方)

---

## 清里どうでしょう？！

清里ミーティングにご参加ありがとうございました。そして、お疲れ様でした。タコ星人こと受付&印刷係りのたかはしちかこです。ここ数年のミーティングでは受付で会計を担当し、通常はこの会報の印刷などを担当しております。

ミーティングの受付では、変な衣装の人間がいて驚いたのではないのでしょうか。あるいは、あきれられてしまったかしら...？

はじめてご参加の方もいらっしゃるのでお断りしておきますが、決して毎年仮装をして受付をしているわけではありません。あのタコの衣装は着ぐるみではなく普通のパーカーで、タコの足は着脱式です。これは、北海道のローカル番組のグッズで、今年北海道内限定で発売されたある意味レアものです。このパーカーを理解して下さる方が100人以上集まる清里ミーティングなのだから少しはいらっしゃるはずと思い、着ておりました。実際、声を掛けてくださったかたもあり、初めてあのパーカーを見たとも言っていました。声は掛けてくださらずとも同好の士は他にもいらっしゃるように見受けました。来年お会いできたら、ぜひ、声を掛けてください。

(たかはし@タコ星人)



---

## お願い！大王様...

アレだけ毎年いやだいやだと言っているのに、ついに今年は誰も相談すらしてくれませんでした。頼まれた記憶はまったく無いのにスケジュールの中にはしっかりジャンケンが組まれていました。なんとということでしょう・・・

それもこれも、きっと去年のプレスで、ワタシがじゃんけんをするのは「大王様が降臨するからなのだ」という大切なハナシをすっかり書いてしまったことを、「大王様」がお怒りになっているからだ



思っていたのです。が・・・「大王様」のお怒りはそんなものではありませんでした！

今年、実は「大王様」は降りてこられなかったのです。え？気づきませんでした？今年はゼツタイ降りてこられていないです。間違いありません。だって、ジャンケンしたのってシートのジャンケンをした佐竹さんだけですよ？そもそも、朝からずっと、ワタシはワタシでした。「大王様」の気配なんて、少しもありませんでしたよ。

朝、駐車場で皆さんをお迎えしている時も、午前中ゲストの皆さんのお話を時折お聞きしていた時も、タンザニアの三木さんが送ってくださったコーヒーや紅茶を堪能してた時も、お弁当を食べていた時も、マツスピ版の内装が思ったよりハマってるなぁと思った時も、ディーテックさんの車の内装がエラクかっこいいなぁと関心していた時も、駐車場で降り出した雨の中慌てて店じまいを始めたRCOさんのテントを眺めていた時も、ワタシはワタシでした。間違いありません。

その後だって、閉会式があるのでホールへ戻って、お弁当のアタリの人数を数えたり何コンの表彰を見ていたり、、、あれ？その後なんだったっけ？あれ？シートのジャンケンを佐竹さんがしてる前って・・・(?\_?)

いやそういえば、E & Tの福田さんの奥様がなんか大きく大きく手を挙げてアピールしてたのを舞台の上から見たような見えないような、、、うーん、そう言えば司会の高橋さんが皆さんを煽って掛け声かけた後に「勘弁してよ」って思いながらも「まだまだぁ！」と応えたのは、確かに覚えているぞ、よしよし。で、その後が、、、あれ？やっぱり「大王様」、いらっしゃってまして???ワタシの知らぬ間に・・・これが「大王様」の怒りだったりして。ナンテコッタイ！

・・・そして来年もまた降りてこられるんでしょうか？来年は是非、一言くらい予告してから降りてきていただきたいものですが、、、大王様ぁ。。

(つのやま@じゃんけん大王降臨の身の方)



---

## お弁当とテルテル坊主

さっちゃんです。

今年の清里はちょっぴりあやしいお天気にドキドキしつつ過ごす一日になりました。息子のコタロウは、特に天気予報を気にしつつ、大きなテルテル坊主を一つ、心をこめて作り、お空にお祈りしながら迎えた当日でした。

朝のあわただしい受付でお土産を配るお手伝いをしていたのがその息子、コタロウです。「お土産です。どうぞ。」と袋を手渡すぎこちなコタロウの動きにお付き合いくださった皆様に心から感謝申し上げます。

彼は、清里が終わった後「来年も袋渡すんだぁ！」と既に来年に向けてやる気満々です。どうぞ来年もよろしく願いします！

それから今年のお弁当のお味はいかがだったでしょうか？

「随分いっぱい入ってたね。」という感想もチラホラ伺いました。

来年も清里でお弁当をひろげて「にっこり」の皆様にお会いできる事を楽しみにしております。

(さっちゃん)



## ツインランバー試用記

私はベテランの腰痛もちである。どのくらい長く付き合っているかと言うと、軽く四半世紀はつき合っている計算になる(別にじじいだからではなく、腰を痛めたのが未成年のころの話だから)。今の車でも、腰に安物低反発クッションを当てて何とかしのいでいたのだが、清里ミーティングでも講演していただいた「デルタツーリング」さんのランバーサポート付きのカークッション「ツインランバー」がよさそうだったので、早速R天で購入してみた。

全体の素材は「3D-NET」でできており、腰の部分に入れるランバーユニットのクッション量によって張り出し部分の調整ができるようになっている。好みに合わせてランバーユニットを調節し、車に取り付けて試乗してみた。うむ、なかなかいい感じ。張り出し具合がグッドだし、硬くもなく、軟らか過ぎもしないサポート加減が絶妙。また、薄手なのにもかかわらず、3D-NETの恩恵か道路の不整を通過したときのショックが、一段マイルドになった。装着してから遠出はしていないが、疲労軽減の効果も高そうに思える。自分の車のシートに満足していない方にはお勧めします。

この商品を装着しても、横Gに対するサポートが向上したり、サーキットのタイムアタックに効果があるわけではありませんので、あしからず。

(たかはし@司会)

---

## タンザニアからの手紙

みなさん、三木さんが直送してくださったタンザニアグッズの数々、如何だったでしょうか？コーヒーは早々に売り切れた様で、スタッフの中でも飲めなかった者が何人かいたとか。でも、喜んでいただけたのであれば、幸いですし、三木さんも喜んでくれていることと思います。絵や布をお持ち帰りいただいた方は、是非ご感想をお寄せください。

さて、会場で余りちゃんと説明できなかつたので、三木さんからの手紙を改めてご紹介したいと思います。

(つのやま) [抜粋責任：豆蔵@編集担当]

昨年の清里ミーティングの時点で青年海外協力隊への参加が決まっていた、次回、および次々回の参加は残念ながら不参加で、と言っていた三木です。

日本では新型NCがお披露目されたようです。ますますロードスター仲間の輪が広がっていることと思います。

現在、僕はアフリカ大陸の東側に位置するタンザニアの法律上の首都ドドマにて、キリスト教会系組織の運営する職業訓練学校で、コンピュータの先生として活動しています。

タンザニアに来て、現地語学研修というものが1ヶ月ほどあったのですが、そこでスワヒリ語をやったのですが、これが難しい！！

3ヶ月が経過した今でも、挨拶とちょっとした会話しかできません(笑)相手の話していることは、6割7割わかるのですが、こちらからスワヒリ語が出てこないのですよね。

この国全体が polepole (スワヒリ語で「ゆっくりゆっくり」) なんですよ。お金にしても、時間にしても「キチキチ」していない。日本人にしてみれば「ルーズ」以外の何物でもない。

うーん、いいところ。マサイ族はいいですね。一般のタンザニア人ではないところがポイントですが(笑)。ちなみにタンザニアには120あまりの部族が存在していて、だいたい町ごとに住んでいる部族が決まっているようです。たとえば、僕の任地ドドマではゴゴ族。北部キリマンジャロのふもと近辺ではチャガ族。

タンザニア全体の共通語はスワヒリ語で第二公用語が英語です。が、もちろんそれぞれの部族に部族語があって、その影響もあってスワヒリ語も微妙に違ってきます。

そんななか、マサイ族は定住地を持たず、家畜であり財産の牛の食料である草を求めて移動します。



タランギーレ国立公園内、ホテルの展望台より





タランギーレ国立公園にて

だからマサイ族はタンザニアの北側のケニアを始めとして、タンザニア、南側のザンビアやボツワナの方にまで広く住んでいるようです。

そんな彼らは、とても優しく、また知的で(一般のタンザニア人と比較してですが)、純朴です。マサイの男性は家族や女性に対して、常にやさしく、大事にしています。マサイ族は部族内で結婚するのが通例ですので、独特の顔立ちで、また一様に長身でスレンダーです。同期の女性隊員も、「マサイの男性はカッコいい」なんて、よく言ってます(笑)。実際、僕もそう思います。

うわさでは、今年の年末にテレビ放映される「あいのり」の特番がタンザニアだとか。日本にいと、アフリカの情報はなかなか入ってきませんよね。そんななかで、少しでもアフリカのことを、タンザニアのことを知ってもらえれば幸いです。

いくつかの写真を同封しておきます。タンザニアで見つけたロードスター、FCの写真も入れておきます。基本的に道がよくないので、スポーツカータイプの車は少ないですが、何とか見つけることができました。それにしても、ロータリーはこの国では修理する技術は無いし、パーツも手に入らないと思うのですが...

タンザニアでは、トヨタが95%以上を占めます。ハイエース(ダラダラと呼ばれるバス代わりに使われます)カーリーナ、カローラ、ときどきチェイサーが乗用車、あるいはタクシーに使われています。もちろん中古。

そんななかでマツダ車を見つけたときは、とても嬉しかったですね。



ダルエス・サラームで見つけたNA6C E

タンザニアはアフリカの中でも観光資源に恵まれた国です。先日サファリツアーでタランギーレ国立公園に行ってきましたが、野生の動物の、そのままの姿、自然の雄大さは、言葉では表現できません。もし、予算、時間が作れるのであれば、ぜひともタンザニアへお越しください。

この国は青年海外協力隊を含め、世界各国の援助を受けている「発展途上国」です。しかし、そのことばは不適切で、近代化が進んでいないだけで、途上国ではありません。いわば「自然先進国」です。(貧しい生活をする人々がいるのも事実ですが)

タンザニアの宣伝みたいになってしまいましたが、少しでも遠く離れたタンザニアという国を知っていただければ幸いです。

(三木千太郎@Dodoma, TANZANIA)

### 編集後記

あぁっ!もうこれだけしかスペースが残っていない!!(汗っ)

まずは、おかげさまで清里ミーティングは今年も盛況のうちに終了しました。ご参加、ご協力ありがとうございました。早速、事務局に感想のメール等いただいています。すでに来年を楽しみにしている 尾さん、気が早過ぎです。(笑)

これで、ERFCの2005年度は終了します。この会報は清里の反省会と来年の運営体制を決める総会場で発送準備しているはずですが、なんかまた私、清里ミーティングの終わりがけに勢いで口走っちゃったみたいですが・・・。くれぐれも「ライフワーク」だなんて口走らないようにせねば。(^^;)

まあ、それはともかく来年もERFCと清里ミーティングをよろしくお願いします。

(編集担当: No.529 まめぞう)



*ERFC Newsletter*  
ユー/スロードスターファンクラブ通信  
**2005 Vol. 4**      2005年 12月 5日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局; 埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方  
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp    URL: http://erfc.sakura.ne.jp